

# 三井みわこ 通信(令和4年号)

- 1971年 生まれ 千葉中央区登戸在住
- 2002年 NPO法人ハートケアゆーあい(障がい者の施設)設立
- 2003年 聖徳大学大学院 児童学研究科 修士課程修了
- 2006年 NPO法人政策塾 「一新塾」(熊谷知事と同期)卒塾  
千葉県教育戦略ビジョン策定作業部会委員
- 2007年 社会福祉法人「白雪会」の理事に就任、軽費老人ホーム  
「ほんだくらぶ」の運営に携わる
- 2008年 ちばCO2CO2ダイエット推進/県民会議委員
- 2010年 千葉市「新市民計画策定のための市民ワークショップ」  
委員
- 2011年 千葉市議会議員初当選
- 2013年 都市建設委員副委員長
- 2015年 千葉市議会議員2期目当選
- 2018年 総務委員会副委員長



千葉市のホームページ生活支援サイトが開設されました。

「買い物支援」の取り組みも検索できます。是非、多くの方々にご利用頂き、より良い事業になる事を期待しています。議員時代から買い物支援、見守り支援、家事援助、相談支援については市に提案してきました。これまでも、「買い物の移動に困難を伴う高齢者の方々」への支援を望むお声を頂いていました。その理由として、住んでいる場所によっては、近所にスーパー等がない、買い物へ行く移動手段がないなどに加え、そういう状況を考えますと、移動販売車を活用した生活必需品の販売も今後の有効な手段になると考えます。既に一部の民間事業者による移動販売が始まり、地域の方々から喜ばれています。

- 楽しい子育て 気がきく街づくり
- 高齢者福祉 ホットする街づくり
- 景気回復 元気な街づくり
- 障がい者支援 優しい街づくり
- 女性の活躍支援 しなやかな街づくり
- 若者の支援 ワクワクする街づくり
- 防災対策の拡充 コロナ対応強化
- 市民の皆さまが安心して暮らせる千葉市目指します！

## 千葉市の生活支援サイト

～暮らしの困った・あったらいいなに応えます～

「気軽にしゃべりたり、趣味が楽しめる場所はないかな？」  
「健康のために、近所で集まって体操できる場所はないかな？」  
「買い物や家事が難しくなってきた。手伝ってほしいな」  
「一人暮らしして何かと心配。見守りをサポートしてほしいな」  
など・・・

こんなご経験は  
ありませんか？

交流の場・通いの場  
見守り・安否確認  
高齢者の  
身近な相談窓口  
日用品・食料・  
弁当の宅配サービス  
外出支援  
家事援助

お住まいの地域で  
暮らしに役立つ情報  
が手に入る！

暮らしに役立つ情報がインターネットで検索  
できます

<https://chiiki-kaigo.casio.jp/chiba>

私は現在福祉の仕事に携わっておりますが、団塊の世代が全て高齢となる 2025 年の年介護人材不足は 34 万人とされています。

その後、団塊世代が 75 歳以上の後期高齢期に突入する 2040 年には、今以上に認知症高齢者が増加することが予測されます。

政府が介護人材の確保策として外国人労働者の受け入れを推進し「技能実習生」、「特定技能」、在留資格介護を創設し、介護に従事する外国人労働者の入り口を拡充しました。

さらに、これら在留資格間の変更を認める、また変更しやすくすることで、外国人介護人材の日本への定着を図っております。医療・福祉の中でも特に介護(に従事する技能実習生)が大きく増加しています。

その中、外国人労働者が一番困っていることは日本語の学習です。

私は日本語教師の資格を取得し日本語の学習を支援しています。

今後、外国人が暮らしやすいまちづくり、千葉市は在留外国人数は増加傾向を示しており、外国の生活習慣や価値観等の異文化を相互に理解し、認め合い、尊重し、共に生活していく「多文化共生」のまちづくりを強化する必要があります。



### 【いのちと暮らしを守る共生社会を目指して！】

2022年7月の参院選に立候補を予定している小西ひろゆき参議院議員は、21年間余り寝たきりだった父親の介護経験を原点に、「暮らしを守る議員力」を目指し国政活動をしております。これまで主に災害対応・新型コロナ対策・いじめ対策・共生社会を創る医療政策などを取り組んできました。

「千葉のいのちと暮らしを守る共生社会」を目指して私は応援しています。



★三井みわこ後援会★

TEL&FAX：043-216-5432 三井みわこホームページ

<https://www.mitsui-miwako.com/>